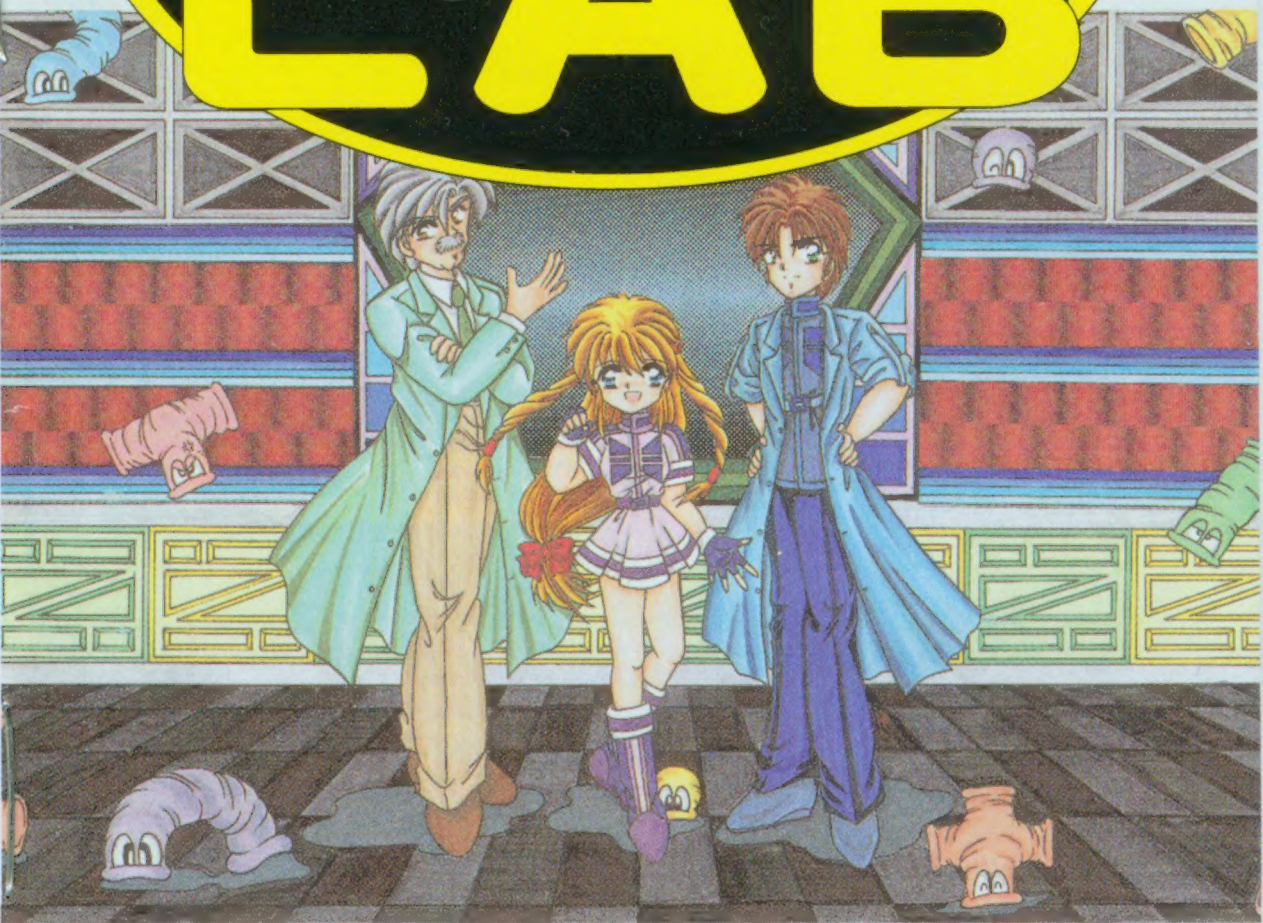


VIRTUAL LAB



とりあつかいせ つ め い し ょ

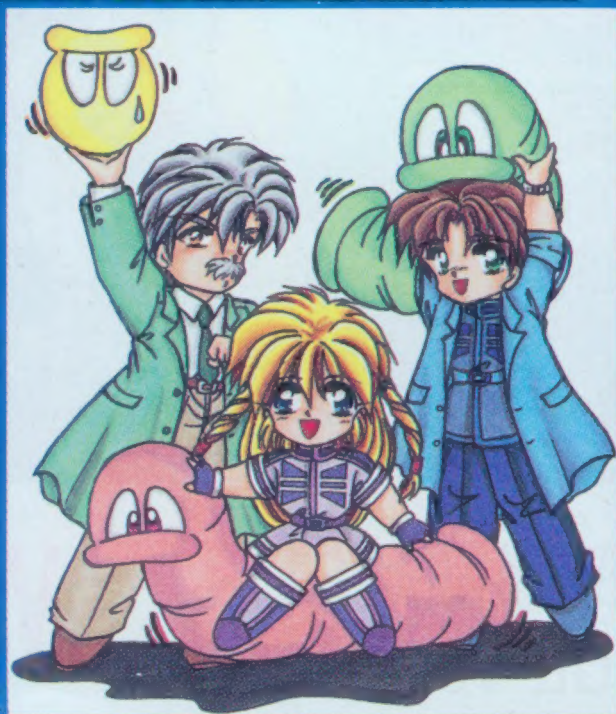
取扱説明書

VUE-VJVJ-JPN

VIRTUAL BOY™

しょうじょう ちゅうい 使用上のご注意

このたびは、(株)J・ウイングのバーチャルボー
イ専用カートリッジ『バーチャルラボ』をお買
い上げ頂き、誠にありがとうございました。まず
はじめに別冊の「注意書」をお読みいただき、次
にこの「取扱説明書」の指示に従い、各調整をお
こなったうえ、正しい使用方法でご愛用くださ
い。なお、「注意書」およびこの「取扱説明書」
は大切に保管してください。



CONTENTS

ゲームを始める前に	4
ストーリー	8
キャラクター紹介	12
ゲームの目的	14
設定画面	16
操作方法	20
パネルの消し方	22



ゲームを始める前に

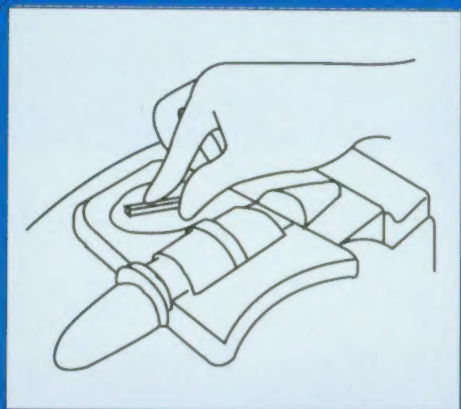
ゲームをスタートする前に、次のような調整をおこなってください。

バーチャルボーイ本体に、カートリッジを正しくセットしてください。カートリッジをセットした後、コントローラーの前面にある電源スイッチをONにすると、しばらくして下の画面が現れます。

IMPORTANT :
READ INSTRUCTION AND
PRECAUTION BOOKLETS
BEFORE OPERATING

じゅうよう：
ゲームをはじめるまえに、ちゅういしょ
およびとりあつかいせつめいしょを、
かならずよんでください。

STARTボタンを押すと「目の幅調整画面」に切り替わります。目の幅調整とは、プレイヤーの左目と右目の幅に、バーチャルボーイ内部の表示装置を合わせる調整です。



調整画面を見ながら、本体上部にある「目の幅調整ダイヤル」をまわし、画面の4すみにあるマークが見える状態に合わせてください。

(3つが見えていれば、ゲームに支障はありません。)

このように4すみのマークが見えるように調整してください。



その他の調整については、バーチャルボーイ本体の
とりあつかいせつめいしょ お
取扱 説明書をお読みください。

オートマティックポーズ機能^{きのう}について

バーチャルボーイ^{せんよう}専用カートリッジには、プレイヤーの目の健康^{め けんこう}を守るため、適度^{まも}な時間^{てきど}に休止^{じかん}する「オートマティックポーズ機能^{きのう}」があります。

「目の幅調整画面^{め はちようせいがめん}」で調整を終えた後、STARTボタンを押すと下の画面に切り替わります。

L十字ボタン左右で、「オートマティックポーズ機能^{きのう}」のON/OFF^{えら}が選べます。

機能のどちらかを選んだ後、再びSTARTボタンを押すと、ゲームのタイトル画面^{きのう えら あと ふたたび}が現われます。

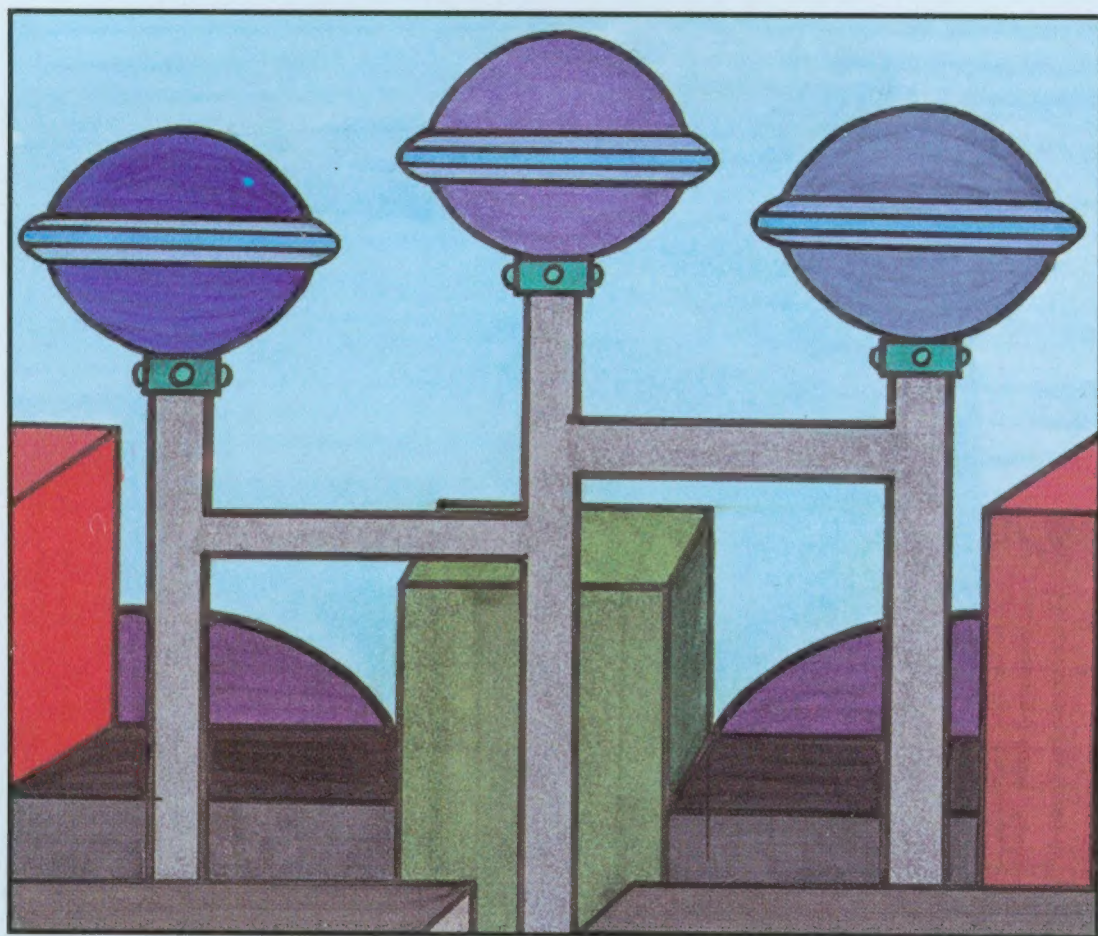
OPTION
AUTOMATIC
PAUSE
ON OFF

ONを選^{えら}んだ場^ば合^{あい}、各^{かく}ス^{しゅ}テ^うー^りジ^{ょう}の終^{しゅ}了^う時^じにオ^おー^とマ^まテ^てィ^いツ^つク^くポ^ポー^ーズ^ず機^き能^{のう}が働^{はた}ら^らい^いて、ポ^ポー^ーズ^ず状^{じょう}態^{たい}に^にな^なり^りま^ます。適^て度^{きど}の休^{きゅう}息^{そく}を^をと^とっ^めて、目^めや体^{からだ}を休^{やす}め^めて^てく^くだ^ださ^さい。

START ボタ^おンを押^おす^すと、ゲ^げー^ーム^むを再^{さい}開^{かい}でき^きま^ます。

せいれき ねん ちきゅう ほどとお わくせい
西暦2095年、地球に程遠い惑星マリン・ブルーにコス
モステーションが創られた。

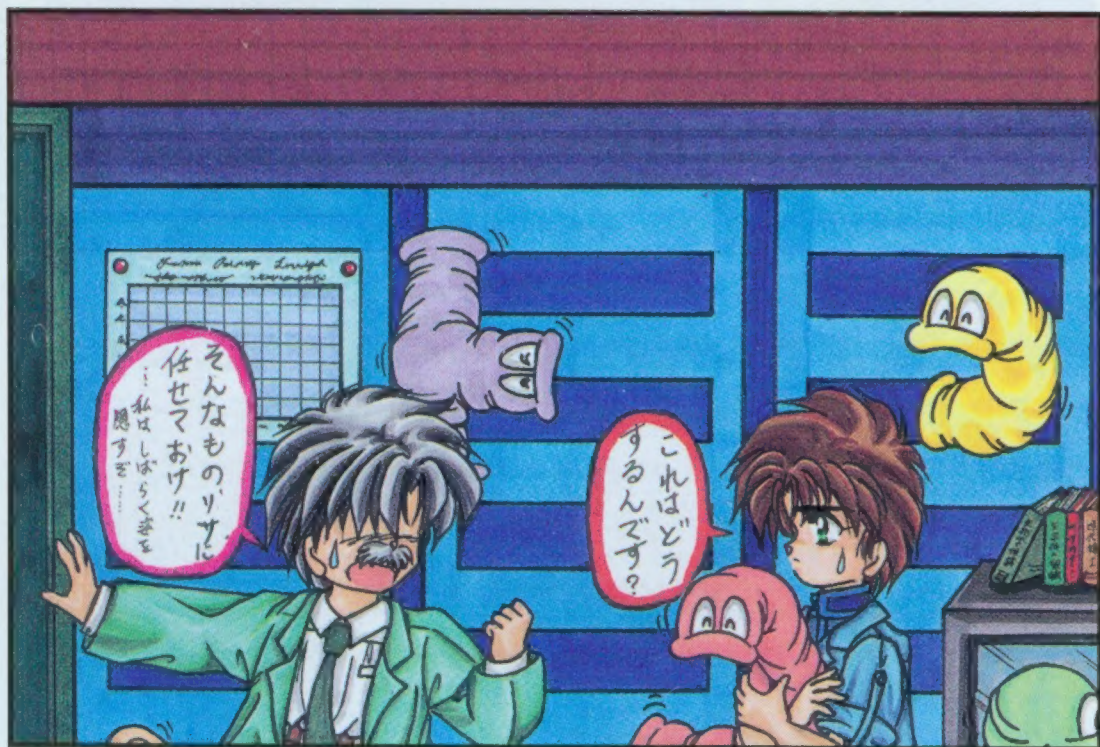
ない うちゅう かい はつ おお
ステーション内には、宇宙開発センターがおかれ、多
かがく しゃ たち あつ さま さま けん きゅう お こ な
くの科学者達が集まり、様々な研究が行われていた。そ
なか げん きゅう しょ しょ ちょう しょう
の中のひとつ、バーチャル・ラボ研究所では所長でもあ
かた ざり は かせ きゅう き ぎ せい ぶ つ せい たい し ら
る、片桐博士が究極生物“ミュー”の生態を調べていた。





「ふっふっふっ…この生物の重大な発見を今度の
 研究学会の席で発表すれば、さらに私の名前が高められ
 るぞ。」すっかり気を良くして、自室で仮眠を取っていた
 博士のところに助手である甲斐ケンが慌てた様子で次
 の事を告げた。「片桐博士、大変です!! 非常事態が発生
 しました!!」急いで特別研究室までかけつけた2人が見
 たものは室温自動調整器の故障で、室内温度上昇の為、
 増殖反応をおこした“ミュウ”の姿だった。

「げげっ、…これはやばい!!^{こと がっかい}こんな事が学会のメンバーに知られたら、私の名前に傷がつく。……^{わたくし なまえ ぎす}甲斐君、この事は誰にもいってはならんぞ。^{だれ}私はしばらく隠れておるからな。」^{わたくし}「そ、そんな…この状況はどうするんです?」^{じょうきよう}「そんなものリサにでも任せておけ。もう、授業が終わるころだろうからな。」^{まか}そういつて博士はドアから出ていってしまった。^{はかせ}「そういうわけにはいきませんよ、博士!!」^{はかせ}すでに姿の見えなくなった博士の後を追って甲斐も部屋を出ていった。

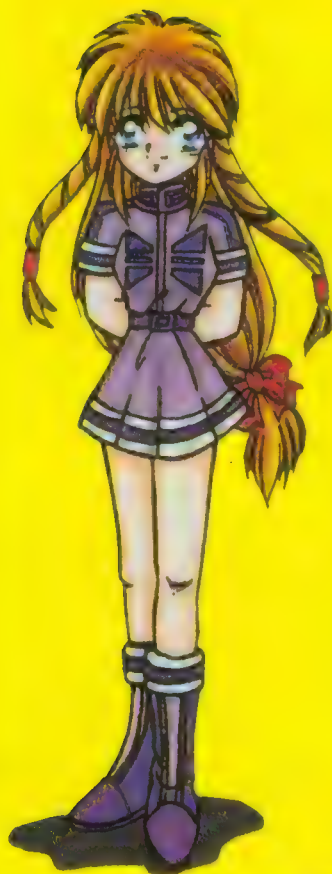




「な〜にこれ…。」^{わたし}私がいつものように^{けんきゅうしつ}研究室のドアを開けると、そこはいつもと違う^{ちが}光景^{こうけい}だった。^{わたし}私の目の前で、奇妙な^{きみょう}生物^{せいぶつ}が部屋中を覆いつくしていたのだ。「これって、お父さんの研究していた生物じゃないの〜。部屋の中にいないところを見ると逃げたなあー。」ふと、机の上のメモに気づいた。この状況の原因と生物の対処法とが書いてある。“後は宜しく”と父の伝言と甲斐君の“博士を探してきます”というメモを手^てに、私の体は硬直した。

「もう〜、おとうさん見つけたらタダじゃすまないからね!!」そんな私の目の前で、『ミュー』達^{たち}はどんどん増え続けていった。

キャラクター紹介



わたし かたぎり さい
私、片桐 リサ 13 歳。
せいかく あか
性格は明るくて、
ちよーつと気が強いつよ
てとこかな。
いちおう しゅしん
一応このゲームの主人
公だよ。

(スタン博士の娘)



ミュー、ミュー
ミュー ミュー〜。
やく ぼくたち けんせいどう
(訳：僕達、原生動
物で「ミュー」と
いうんだ。謎の多
い生物だよん。)

わたし かたきり さい
ふっ私は片桐スタン 35 歳だ。
けんきゅうしよ しやちふ つと しふん
研究所の所長も勤めておる。自分
で言うのもなんだが、なかなかの
きもの
切れ者だぞ。

(でも性格はいいかげん：娘談)

はじめまして。
かい もう
甲斐ケンと申しま
す。年は18歳で
す。年のわりには
よくしっかりして
いると言われます。
けんさい かたきりはかせ
現在片桐博士の
しよしゆ
助手をしています。



ゲームの目的

…まったく、お父さんとうの無責任むせきにんさにもまいる
なあ…なんてあきれてる場合はあいじゃなあ～い!!
私わたしにはやらなきゃならない事ことがいっぱいある
し。

…そう、研究室けんきゅうしつにあったあのメモに処理方法しよりほうほうが
書いてあったの。

それによると“ミュー”は断片だんぺんにある穴あなで呼吸こきゅうし
ているから、これを塞ふさげばいい…とのこと。

うーん、要ようするに口くちを全部ぜんぶ塞ふさいで窒息死ちっそくしさせれ
ばいいんだね。

“ミュー”は死ぬしと空気中くうきちゅうの酸素こうそによって体からだが溶
かされて消えるそうだ…って、これは別べつにどう
でもいいかな。

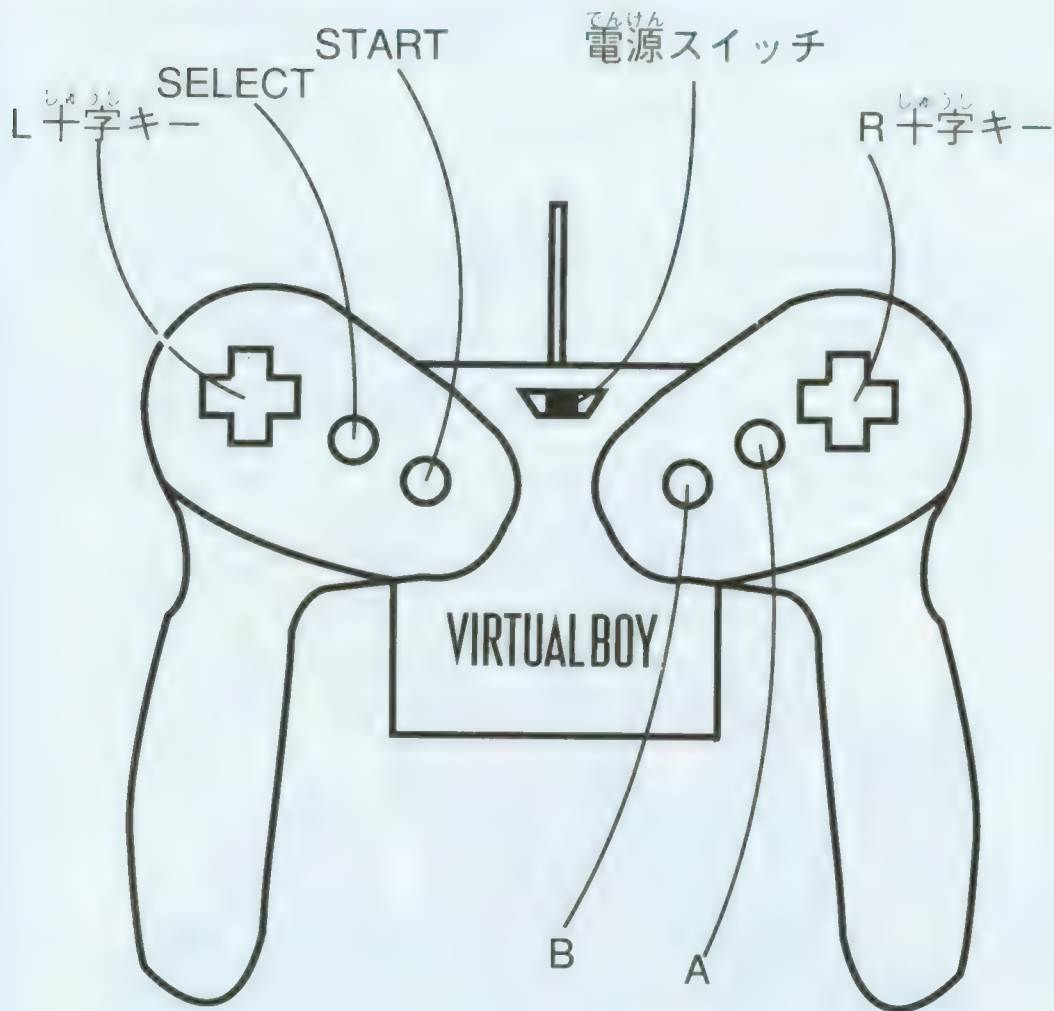
だって目的^{もくてき}はたくさんの“ミュー”を同時^{どうじ}に消^けして、1匹^{いっぴき}も残^{のこ}らぬように消失^{しょうしつ}させる事^{こと}なんだから。

…これを読^よんでいるその君^{きみ}、しっかり私^{わたし}を操作^{そうさ}してね。

なんといっても君^{きみ}の腕^{うで}次第^{しだい}なんだから…。



コントローラー CONTROLLER の説明



START : ゲームスタート
ポーズ

SELECT : 選択の決定

A : 落下パネルの時計回り回転

B : 複数パネルの位置替え

十字キー左右 : パネルの左右移動

十字キー下 : パネルの落下加速

タイトル画面



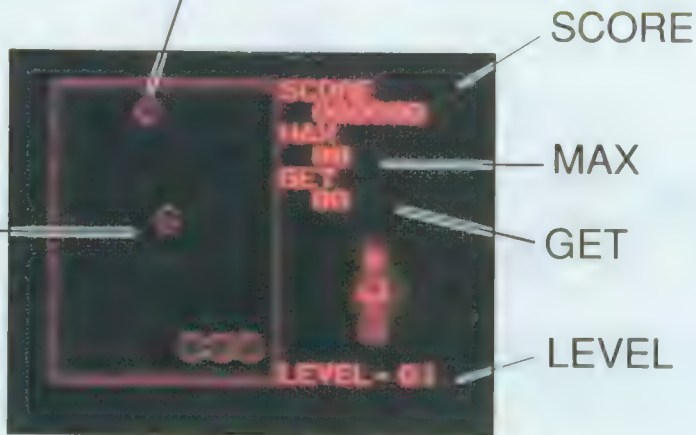
ここで、^{らく}落下^か速度^{そくど}の設定^{せってい}をします。
LOW (^{おそ}遅い)・MID (^{ふつう}普通)・HI (^{はや}速い)

PLAY 画面の説明

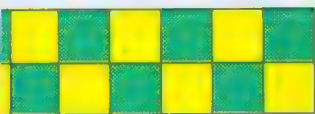
画面の上から落下してくるパネルをつなぎあわせてパネルを消失させてください。

次回落下パネルの表示

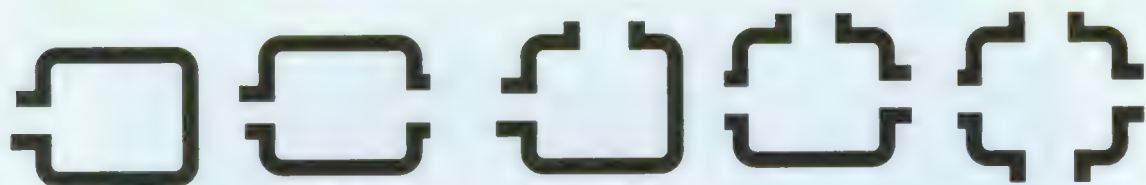
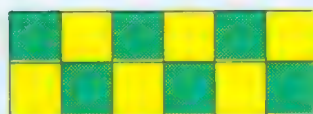
落下パネル



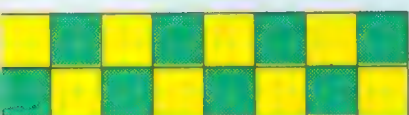
SCORE	スコア
MAX	同時消失パネル数の最高記録 (ゲームオーバーで抹消)
GET	直前の同時消失パネル数 (次の反応で更新)
LEVEL	現在のレベル
落下速度	(LOW、MID、HIの3段階)



パネルの種類^{しゅるい}



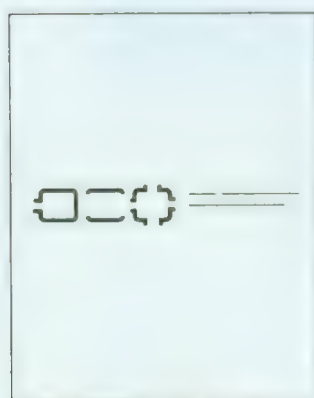
うえ^{しゅるい}
上の5種類があります。



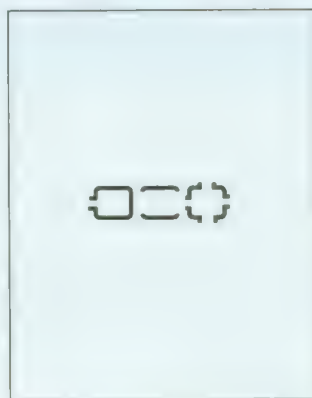
操作方法^{そうさ ほうほう}



じゅうじ^{さゆう}
十字キーの左右で、パネルを左右に移動させる
ことができます。



じゅうじ^{ひたなり}
十字キーの左で
左へ移動



じゅうじ^{みぎ}
十字キーの右で
右へ移動

十字キーの下でパネルの速度を速めることができます。



十字キーの下を
おさない場合

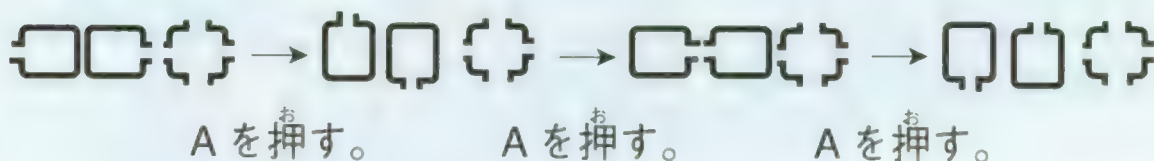


十字キーの下を
おした場合

Bボタンを押すと、パネルの位置が変わります。



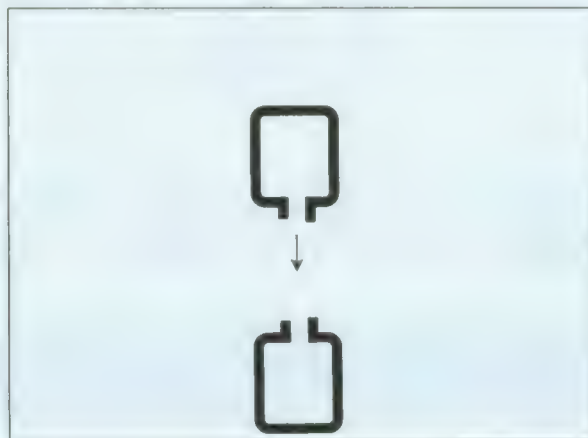
A ボタンを押すとパネルが回転します。



パネルの消し方^{け かた}

パネルの開口部^{かいこうぶ}をすべてふさぐと、パネルは消失^{しょうしつ}します。パネルの塞ぎ方^{ふさ かた}は2通り^{とう}あります。

①パネルの開口部^{かいこうぶ}どうしをつなぐ。

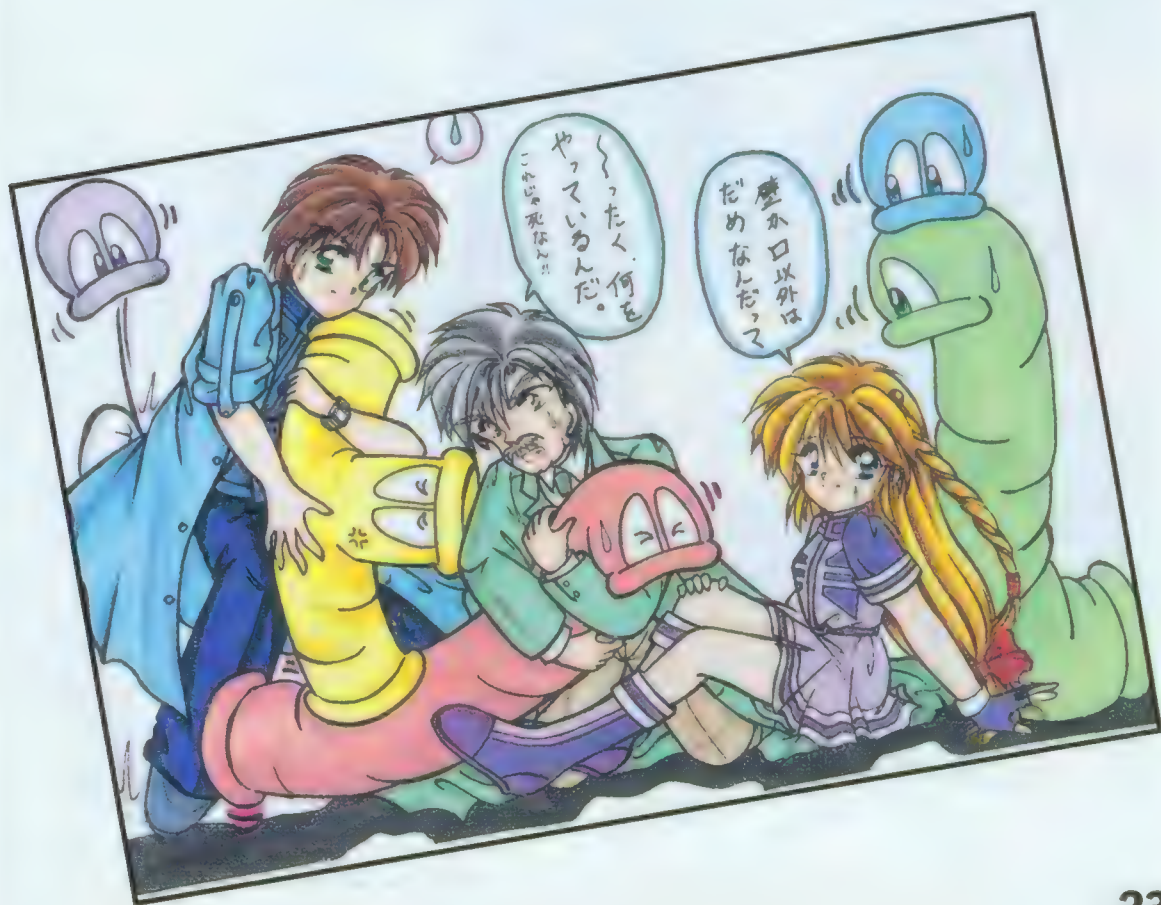
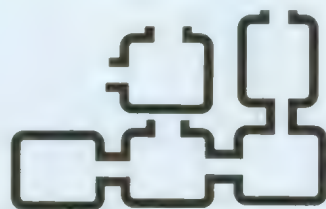


②パネルの開口部^{かいこうぶ}を床^{ゆか}や壁^{かべ}につけます。



※^{はあい}このような場合、^{しょうしつ}消失しません。

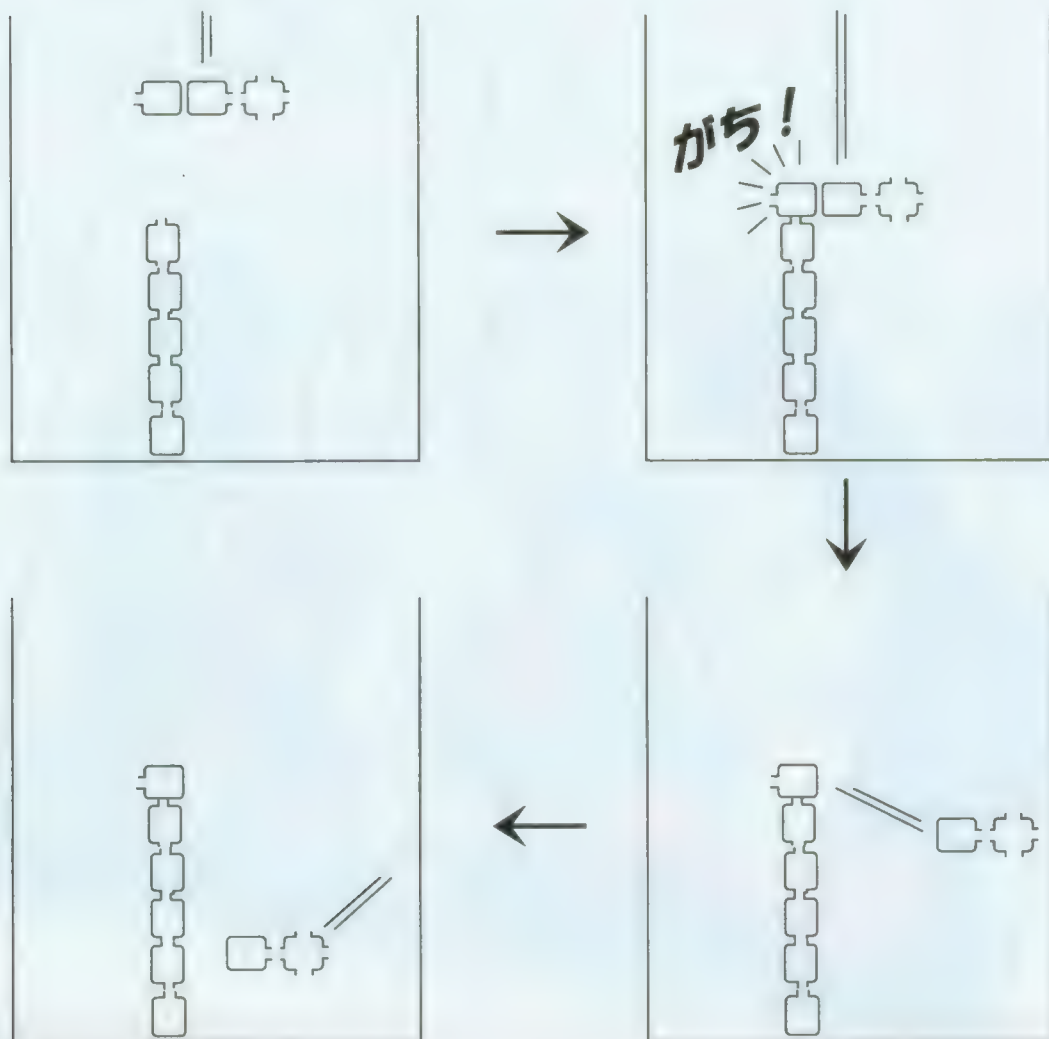
パネルの開口部が、自
分の表面にくっついて
しまった場合、このパ
ネルは消失しません。



複数のパネルについて

レベルアップすると落下してくるパネルが複数になることがあります。

複数のパネルのどれか1つが着地すると他のパネルは独立して動かすことができるようになります。



こ いじょう どうじ け けあい 10 個以上同時に消した場合

どうも、甲斐^{かい}です。

プレイ前に1つ教えたい
事が…。きっと役に立つ
と思います。
— もし、操作を間違え
たりして消せなくなつた
“ミュー”が出てきたら、
慌てずに10匹以上の
“ミュー”を同時に消し
てください。その後妖精
が現われて、画面の一番
下の段の“ミュー”を消
失させますので。えっ？
どうして下だけ消える
かって？ここではとても
説明できませんが、そう
いふ法則があるんです。消
せなくなつた“ミュー”
を消失させるにはこの
方法しかありません。こ
れをうまく利用してリサ
さんを手伝ってあげてく
ださいね。



連鎖反応

● 上に乗っているパネルは下のパネルが消失すると重力の法則で落下します。そして、落下後開口部が地面にくっついたり、他のパネルの口を塞いだりすることがあります。そしてすべての口が塞がればそのパネル群も消失します。

● 場合によっては、2度、3度の連鎖反応を作ること也有可能です。

…それはあなたの腕しだい！！

レベルアップ

- 画面のパネルを全部消すと、そのレベルがクリアされたことになります。そして、次のレベルに上がります。
- レベルアップは、同時に消去したパネルの数によって上がり方が変わります。

MAX20 未満：	1レベルのアップ
MAX20～29：	2レベルのアップ
MAX30～39：	3レベルのアップ
MAX40～49：	4レベルのアップ
- 場合によっては、一番初めのステージで、1つのパネルを処理しただけで、レベルアップになることもあります。

…それはあなたの運しだい！！

ゲームオーバー

- ^{がめん}画面のパネルが上まで積み上がったたら、ゲームオーバーです。
次のトライをお^ま待ちしています。
- レベルアップ^じ時の休憩^{きゅうけい}タイムは、^{さいだいげん}最大限^{りよう}利用したほうが、^{こうとくてん}高得点にもつながりますよ。



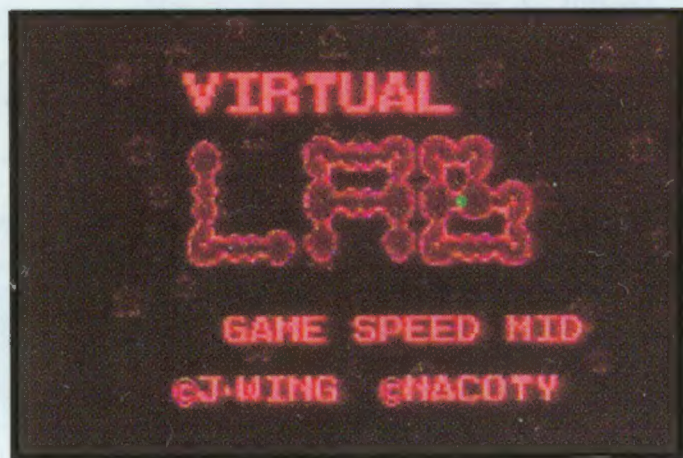
かんぜん
完全にミューを^{げきたい}撃退できるカー?!
Good Luck!!



みなさま ユーザーの皆様へ

- このソフトウェアと取扱説明書は、株式会社
J・ウイングの著作物です。その一部または
全部を、株式会社J・ウイングの許諾なく、
複写、複製すること、およびレンタル業、も
しくはそれに類似する行為に使用することは、
法律（著作権法など）で禁止されています。
- ゲーム内容などに関するご質問、攻略法など
については、誠に勝手ながらお答えできませ
んののでご了承ください。
- 製品には万全を期しておりますが、万一
株式会社J・ウイングの責に帰する不都合が
生じましたら、ご面倒とは思いますが、
「株式会社J・ウイング ユーザーサポー係」
までご連絡くださいますようお願い申し上げ
ます。

VIRTUAL LAB



VIRTUAL BOY・バーチャルボーイ™ は任天堂の商標です。

FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY AND COMMERCIAL RENTAL PROHIBITED.

本品は日本国内だけの販売および使用とし、
また商業目的の賃貸は禁止されています。



株式会社 J・ウイング

〒115 東京都北区赤羽 1-60-1 グランデール 202